

令和3年度 森林環境譲与税に関する決算状況

No.	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績
			(A) + (B)	(A) うち森林環境譲与税（千円）	(B) うち他の財源（千円）		
1	意向調査、集積計画等作成	森林所有者意向等調査事業	2,270	2,270	0	森林の現況調査や森林経営管理法に基づく森林所有者（前回調査での未回答者）への意向調査および、前回調査時に回答があった所有者に対する今後の見直し等フォローアップ文書の送付。	意向調査対象人数：678人 回答あり：111件 回答なし・宛先不明等：567件 フォローアップ文書送付数：426件
2	私有林整備	造林事業促進補助金	9,651	3,880	5,771	公共等に採択された下刈・間伐等について上乗せ補助を実施。	保育間伐：20.00ha 間伐（搬出）：49.47ha 下刈：67.94ha 野そ駆除：61.78ha
3	森林・林業・木材普及活動等	地域材利用促進事業	923	923	0	地域材を利用した木製工作キットを市内の児童館に配布。	児童館への提供 10児童館：計382セット
4	その他（人材育成等）	自伐型林業普及推進事業	392	392	0	自伐型林業の普及啓発のための講演会を開催。	講演会参加：59人
5	その他（人材育成等）	北海道林業・木材産業人材育成支援協議会負担金	10	10	0	「北海道立北の森づくり専門学院」の創設を契機として設立された北海道林業・木材産業人材育成支援協議会への負担金。	
6	木造公共建築物の整備等	北日吉小学校屋内運動場床改修工事	44,550	13,395	31,155	道産材を利用し屋内運動場の床の全面改修。	木材使用量：11.52㎡
7	木造公共建築物の整備等	谷地頭児童館遊戯室床改修事業	6,578	1,533	5,045	老朽化した谷地頭児童館遊戯室の床を道産材を使用し改修。	木材使用量：1.4904㎡
8	木造公共建築物の整備等	木製階段整備事業（函館山緑地整備）	20,031	9,245	10,786	函館山遊歩道の劣化した階段を道産材を使用し再整備。	木材使用量：4.4㎡
9	木造公共建築物の整備等	昭和公園管理事務所増築工事（公園等整備）	21,021	680	20,341	道産材を使用した事務所の増築。	木材使用量：4.4㎡
10	木造公共建築物の整備等	若松緑地一本木関門整備（公園等整備）	2,915	2,915	0	若松緑地の劣化した関門を道産材を使用し再整備。	木材使用量：0.7㎡
		計	108,341	35,243	73,098		

【事業等の説明】

・適切な森林の管理のため、経営管理が行われていない森林を所有する森林所有者678人に対して、今後の森林経営に関する意向調査を実施し、そのうち111人から回答を得た。  
 ・私有林整備の推進のため、公共に採択された下刈67.94ha・間伐49.47ha・保育間伐20.00ha・野そ駆除61.78haに対し上乗せ補助を実施。  
 ・「木育」の観点から、市内各児童館において開催された木工教室に、地域材である道南スギを使用したビー玉シロフォン、子供イス、教科書トレイ、ドライフラワーBOX、ミニティッシュボックス、ビー玉コロコロスロープ、カズーの計7種の木製工作キットを児童館10館に提供し、地域材の普及啓発活動を行った。なお、木工教室は令和3年度中に4回開催された。  
 ・人材育成の観点から、市内の施設において自伐型林業に関する講演会を実施し、会場参加48人、WEB会議システムによる参加11人の計59人の参加があった。  
 ・木材利用の観点から、市内の小学校の室内運動場や児童館の遊戯室の床を道産材を用いて改修した。また、函館山遊歩道の劣化した階段を道産材を使用し再度整備した。そのほか、昭和公園管理事務所の増築および、若松緑地の一本木関門の再整備を道産材を用いて行った。